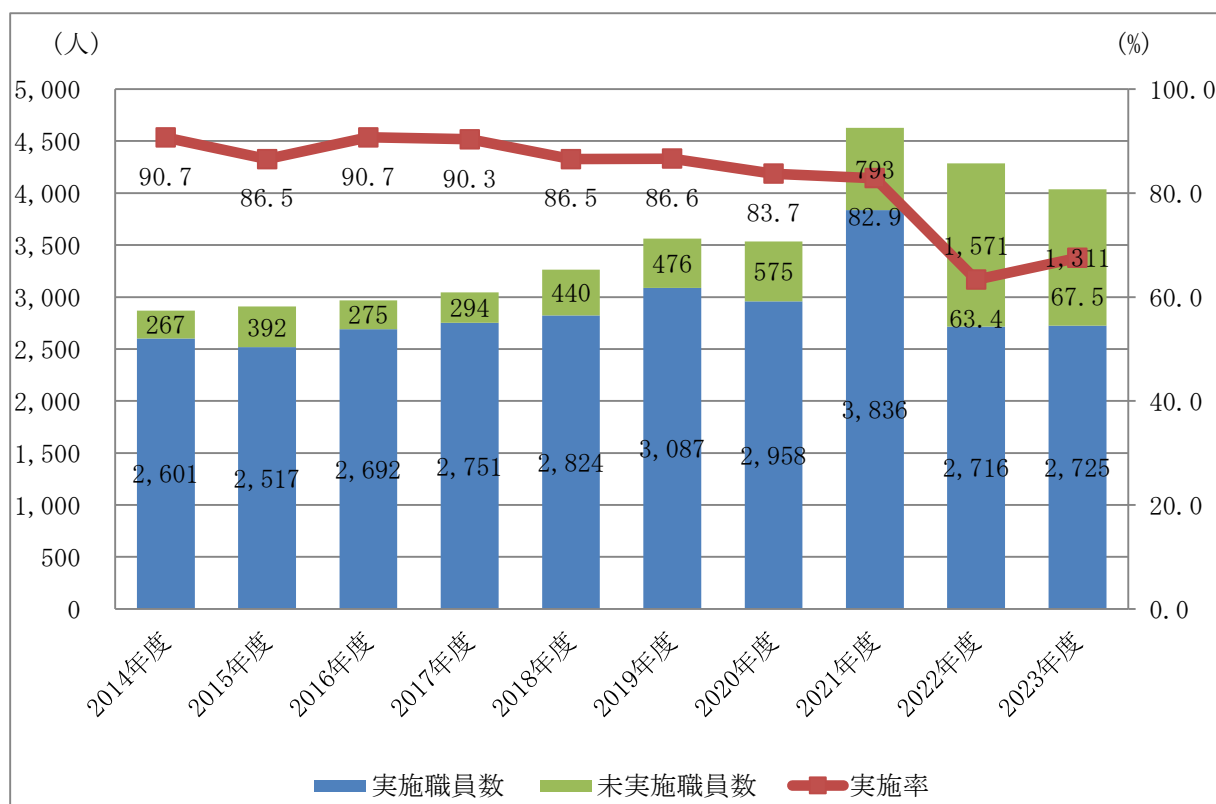


38. 職員のインフルエンザワクチン予防接種率



2023年度の予防接種率は昨年度より若干高くなっているが、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較し、低くなっている。

病院職員のインフルエンザワクチン接種率は、患者の安全にかかわる問題であり、病院職員の罹患は、病院を受診する患者への感染機会を増やすこととなるため、注意を払わなければならない。また、罹患した場合、職員の業務が制限され、その結果職場の人員不足を招くこともある。予防接種率を上げることは、罹患の可能性が減少し、重症化も抑制されることがあるため、インフルエンザワクチン接種を推奨していく。

データ提供 法人本部健康管理部